

滝の谷戸のおしゃもじ様



移転: 令和4年2月吉日

2021/03/09

場所: グリーンパーク方面に向かう倉田小学校への通学路



雑草が生い茂った藪の中にひっそりとう
ずくまった猿田彦大神の石碑が見つかり
ました。

この神様は、日本神話に出て来るにぎ
の尊の天孫降臨の際に道案内をした神
様です。

その石碑の右側におしゃもじ様と彫られ
ていました。

石碑であるところから『咳』の神様とされ、
願掛けの証として『杓子』を奉納した事
から通称『おしゃもじ様』となりました。



咳などの呼吸器疾患の治癒や、口中の疾患の治癒に靈験あらたかな神様だそうです。コロナ禍で遠出が出来ない中、町内の散策の一つに加えてください。



下倉田(滝の谷戸)
おしやもじ様の由来

昔、この下の吉原家に清(きよ)さんがお嫁入りしました。お姑さんから、この家は『おしやもじさんじや』と聞かされ、毎朝熱いお茶を持ってお参りしていました。

この神様は、『猿田彦大神』という日本神話に出て来る『にぎにぎの尊』の降臨の時、道案内をした神様で道祖神や庚申信仰と結びついたりと言われていますが、どんな形で村人の信仰に結びつき滝の谷戸に鎮座したかはわかりません。が、村に流行風邪や嫌な病が入って来るのを追い払うと信じられ、子供が病に侵されたときは、お母さんが竹筒やお茶碗に熱いお茶を入れ、木の枝に吊るしお参りしたり健やかな成長を願ったりしたそうです。

上倉田にも同様な『おしやもじ様』があり近隣のお年寄りの記憶でお茶碗が山のように積まれていた事もあったと言っています。また、石のほこらや、石碑であるところから『咳』の神様とされ、願掛けの証として『杓子』を奉納した事から通称『おしやもじ様』となったと言われているそうです。

※にぎにぎの尊（にぎにぎのみこと）（瓊瓊杵尊）

天皇の祖先神、天照大神の孫

※おしやもじさま、供えた餅を食べることで風邪に効くという伝承があり、治るとしやもじに記名して奉納していた。

平成五年十二月吉日 現
奉納者 吉田 信治 様
2021/03/09

令和四年二月吉日

下倉田町内会

